

備えない防災“フェーズフリー”を提案 地元高校・大学生や企業×オカビズの防災展 8/18・19 開催

岡崎ビジネスサポートセンター・オカビズ（以下「オカビズ」）／センター長高嶋舞）は、8月18日（月）・19日（火）の2日間、イオンモール岡崎（岡崎市戸崎町）内のオカビズブースにて、「備えない」防災 『いつも』のなかに『もしも』を。展」を開催します。本フェアは、「非常時と平常時を分けない＝フェーズフリー」の考え方を啓発することを目的に、防災グッズや非常食を日常生活に取り入れる具体的なアイデアや商品を紹介。地元の高校・大学生や企業と行政が連携して発信する防災啓発イベントです。

■背景：“フェーズフリー”防災への注目が集まる一方、災害への備えが不十分な国内の現状

- ・NHK では今年 4/15 に「日常と災害時を区別しない「フェーズフリー」の催し」として北九州市の取り組みを特集報道するなど、フェーズフリーの概念に注目が集まっている。

出典：<https://www3.nhk.or.jp/lnews/kitakyushu/20250415/5020017909.html>

- ・株式会社矢野経済研究所の調査によると、2024 年度の国内フェーズフリー商品小売市場規模は 232 億円で、前年度比 125%と大きく伸長している。

出典：https://www.yano.co.jp/press-release/show/press_id/3867

- ・一方で内閣府の「防災に関する世論調査（令和 4 年 9 月調査）」では、「自然災害などの対策を身近な人と話し合ったことの有無」について、36.9%が「ない」と回答するなど災害への備えが浸透しきっていない現状がある。

出典：<https://survey.gov-online.go.jp/r04/r04-bousai/2.html>

■「“備えない”防災『いつも』の中に『もしも』を。展」概要

- ・非常時と平常時を分けない「フェーズフリー」の考え方を啓発、市民に取り入れてもらうことが狙い。
- ・9/1 防災の日に先駆けて実施することで市民の防災意識を醸成する。
- ・岡崎市防災課、岡崎城西高校と愛知学泉大学の学生が連携。避難してきた人たちで避難所を開設できる仕組み「ファーストミッションボックス」の展示と説明会。
- ・非常時に役立つ、日常使いできるオカビズサポートの岡崎市内の商品の展示、販売。

<開催概要>

日 時：2025 年 8 月 18 日（月）・19 日（火）11:00～16:00

会 場：イオンモール岡崎 3 階 オカビズスペース

入場料：無料

主 催：岡崎市商工労政課・岡崎ビジネスサポートセンター・オカビズ

協 力：岡崎市防災課／岡崎城西高等学校・愛知学泉大学

備 考：防災展示を 2025 年 9 月 1 日（月）～10 日（水）に図書館交流プラザリぶら 2 階で実施。



>> <https://www.oka-biz.net/trialspot/entry-3836.html>

特設ページ QR コードはこちら→



■主な出展内容

1. 天然の栄養をぎゅっと凝縮したドライフード「岡崎ベジまる具っと 365」【展示・販売】



出展者：(株)アクト

内容：規格外の野菜をアップサイクルした簡単・便利・手軽な乾燥野菜。

住所：岡崎市稲熊町字 1-74 / 電話：0564-79-8910

公式 HP：<http://act-okazaki.com/>

『いつも』は：軽食や時短料理に

『もしも』のときは：心と体の栄養補給に

2. 食べごたえ満点のレトルト「六ツ美のあの肉カレー」【展示・販売】



出展者：六ツ美養鶏加工協同組合

内容：親鶏の骨付きモモ肉がまるごと 1 本入ったレトルトカレー。

住所：岡崎市上青野町字城屋敷 7 / 電話：0564-43-2475

公式 HP：<https://mutsumiyoukei.jimdofree.com/>

『いつも』は：手軽なごちそうに

『もしも』のときは：心も満たす一食に

3. 持ち歩けるお風呂「FUKU-ONSEN ふく温泉」 【展示・販売】



出展者：(株)じゃがいも

内容：被災者の声から生まれた、拭くだけ、水いらすの全身シャンプー。

住所：岡崎市寿町 13-13 / 電話：0564-24-5215

公式 HP：<https://www.jagaimo.co.jp/>

『いつも』は：外出先でのリフレッシュに

『もしも』のときは：避難所でのお風呂代わりに

4. だれでもできる避難所開設セット「ファースト・ミッションボックス」や防災グッズなど【展示・説明】



出展者：岡崎市防災課 紹介・説明／岡崎城西高等学校・愛知学泉大学

内容：岡崎市防災課、岡崎城西高校と愛知学泉大学の学生が連携。

避難してきた人たちで避難所を開設できる仕組み「ファーストミッションボックス」の展示と説明会

水で固まる簡易トイレの体験や段ボールベッドの展示など

住所：<岡崎城西高等学校>岡崎市中園町川成 9 8 / 電話：0564-31-4165

<愛知学泉大学>岡崎市船越町上川成 2 8 / 電話：0564-34-1212

『いつも』は：防災を考えるきっかけに

『もしも』のときは：安全確保のはじめの一歩に

■今後の展開

オカビズは「岡崎市を挑戦者があつまるまちに」というビジョンのもと、より挑戦を促し、挑戦が始まり、挑戦が集まる場所として機能するべく様々な取り組みを進めています。今後も地域の事業者を巻き込みチャレンジを創発し、岡崎地域の活性化に役立てるように活動していきたいと思ひます。

公的産業支援機関と地域の学校・事業者が連携して新しい防災を啓発する取り組みです。

貴紙の取材を賜りますようお願いいたします。

-
- 岡崎ビジネスサポートセンター・オカビズ (岡崎市図書館交流プラザ・りぶら 2F、イオンモール岡崎 3F)
TEL：0564-26-2231 メール：info@oka-biz.net URL：<https://www.oka-biz.net/>
担当：高嶋、勝又 (土・日曜日を除く / 10:00~17:00)